

認知症の薬の使い方とそのリスク

岐阜

介護現場ではいま、画一的な処方と多剤併用によって
深刻な＜薬害＞が起こっている！

浜松

2017年
日時：8月22日(火) 10:30～16:00

会場：岐阜市民会館 (会議室 43)

(岐阜県岐阜市神田町 2-2)

☆JR「岐阜」駅北口よりバス「市民会館前」下車すぐ

2017年
日時：8月23日(水) 10:30～16:00

会場：浜松市福祉交流センター

(43会議室)

(静岡県浜松市中区成子町 140-8)

☆JR「浜松」駅北口を左、高架線路沿いに西南方向
(豊橋方向)へ徒歩 10分

＜認知症介護&医療の全てが分かる1日コース＞

【講師】

ひがしだ つとむ
東田 勉



フリーライター。介護・福祉・医療分野の綿密な取材をもとに執筆した著書は多数。
2014年に刊行された『認知症の「真実」』（講談社現代新書）はベストセラーに。長尾和宏医師との共著『認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか？』（現代書林）、村瀬孝生氏との共著『認知症をつくっているのは誰なのか』（SB新書）、近著に『親の介護をする前に読む本』（講談社現代新書）がある。

プログラム	10:30～11:30	認知症医療の最前線の動き なぜ認知症はこんなに増えたのか／海外から批判されている日本の認知症対策／症状による4大認知症の見分け方／高齢になるほど増える合併と移行
	11:45～12:45 (昼食)	抗認知症薬のメリットとデメリット 中核症状とBPSDへの薬の使い分け／抗認知症薬の増量規定／いまさら聞けないアリセプトの作用と副作用／認知症のコミュニケーション障害にどう対応するか
	13:45～14:45	高齢者への薬物療法の極意 第一線の認知症医が導き出した結論／抗認知症薬が認知症を悪化させる／コウノメソッドの画期的な投与方法／リバスチグミンとシロスタゾール／意識障害とせん妄への対応
	15:00～16:00	介護職は何ができるのか デビルメソッドからお年寄りを救い出せ／声をあげ始めた医師たち／アルツハイマー病の真の問題とは何か／心理学からのアプローチと介護からのアプローチ

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合のみ一週間以内にご連絡申し上げます。

【受講料：6,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主催

なるほどケア塾

〒189-0011

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榎円窓社内

お問い合わせ

☎042-306-3771

お申し込みはこちらへ Fax

Fax：042-306-3772

＜参加人数＞

＜参加者名＞

*施設の場合は施設名もご記入ください。

＜住所＞〒

(自宅・職場)

＜TEL＞

＜FAX＞

8/22(火) 岐阜 ()名	8/23(水) 浜松 ()名
--------------------	--------------------